

弁護士・博士(法学)・海事補佐人

いとう ようへい  
伊藤 洋平



## 経歴等

- 2000年 上智大学法学部卒業
- 2006年 戸田総合法律事務所入所。  
以降、海外逮捕事件、船舶差押事件、船主責任制限事件、航海備船契約を巡る紛争をはじめ、多数の海事関係事案を担当
- 2013年9月 英国サウサンプトン大学海事法ショートコース修了
- 2018年3月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
- 2023年3月 博士(法学)(早稲田大学)

## 受賞歴

- 2021年～ Best Lawyers in Japan™ (Maritime and Shipping Law)
- 2022年 小町谷奨励賞(日本海法学会)
- 2025年 山縣勝見賞(論文賞)(一般財団法人山縣記念財団)

## 講演・論文等

- The International Comparative Legal Guide to: Shipping Law 2013 (Japan Chapter)
- 「燃料油供給契約におけるUS Choice of Law Clauseと船舶先取特権」海事法研究会誌222号35頁(2014)
- 『設問式 船荷証券の実務的解説』(共同執筆)(成山堂書店, 2016)
- 「堪航能力担保義務をめぐる諸問題」(2017年度日本海法学会ディスカッション)
- 「海上運送人の貨物留置権の法的性質－商法753条2項の検討を中心として－」早稲田大学大学院法研論集第168号1頁(2018)
- “Law Reform on the Statute of Limitation and Time Extension Agreement” (第12回東アジア海法フォーラム, 2019)
- 「アメリカ法におけるマリタイムリーエンの追及性とその限界」早稲田法学会誌71巻2号1頁(2021)
- 「運送契約上の責任減免規定の対抗を受ける『荷受人』の意義が問題となった事例－ジャイアントステップ号事件の再検討－」早稲田法学97巻2号161頁(2022)
- 「アメリカ法におけるマリタイムリーエンの順位」早稲田法学会誌72巻2号1頁(2022)
- 「マリタイムリーエンの成立に関する準拠法選択の有効性」早稲田法学会誌73巻1号1頁(2022)
- 「運送契約法の規律と不法行為責任」自由と正義 Vol.73 6月号23頁(日本弁護士連合会, 2022)
- 「米国マリタイム・リーエンの研究」(成文堂, 2025)

## 所属団体等

- 日本海法学会
- 国際私法学会
- 日本民事訴訟法学会
- 早稲田大学海法研究所(招聘研究員)

## メッセージ

海事法は国際的な経済活動と法理論が複雑に交錯する世界であり、一般的な法律知識だけでは対応できません。

依頼者のニーズに適切に応えられるよう、実務と法理論の両面において研鑽を重ねて参ります。